

# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
**8 国際交流事業（外国語教室の開催等）**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		国際交流費	
	大事業		国際交流事業	
	事項		国際交流事業	

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	4	国内外交流の推進
施策	1	国内外交流の推進
基本方針	2	多様な文化を持つ人々が共生できるまちづくりの推進

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H3 ~		
事業実施の根拠法令	無		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	国際交流課	沼丸 晴彦	435-1010
関連課			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	外国語教室を開催することにより、市民の国際性を育み、本市の国際交流を推進されるグローバルな人材（ボランティア）を育成する。	外国語を市民の方に受講していただくことは、市民の国際性を育み、ひいては本市の国際交流を推進されるグローバルな人材（ボランティア）を育成するためです。現在、各講座は初級クラスを設定、一般の方々に気軽に受講していただくことを目標としております。特に本市は姉妹・友好都市の関係から英語、中国語、韓国語の教室を実施しております。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		英語、中国語、韓国語の初級クラスを実施	英語、中国語、韓国語の初級クラスを実施	英語、中国語、韓国語の初級クラスを実施	英語、中国語、韓国語の初級クラスを実施	英語、中国語、韓国語の初級クラスを実施

## 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	952	952	984	984	1,006	197	199		199	
	伸び率 (%)	-	-	3.4%		2.2%		-80.2%		0.0%	
	人件費	常勤職員	3,425	4,557	4,557	4,761	4,557	3,136	3,136		
		非常勤職員	2,411	2,411	2,411	1,685	2,411	1,251	1,251		
		小計	5,836	6,968	6,968	6,446	6,968	4,380	4,380		
	国庫支出金	0		0		0	0	0			
	県支出金	0		0		0	0	0			
	市債	0		0		0	0	0			
	その他	46	46	40	40	39	44	36			
	一般財源（税等）	906	906	944	944	967	969	977			
	所要人数	常勤職員	0.46	0.61	0.61	0.64	0.61	0.41	0.41		
		非常勤職員	0.96	1.14	1.14	0.86	1.14	0.57	0.57		
主な予算内訳		費用弁償 188千円 等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値	実績値	全体目標達成度	年度別達成度					
英語、中国語、韓国語教室の開催数	年度目標値	60		60	60	60	60	60	
	実績値	60		60					
	全体目標達成度	60.0%							
	年度別達成度	100.0%		100.0%	100.0%				
英語、中国語、韓国語教室の応募人数	年度目標値	60		60	60	60	60	60	
	実績値	108		117	119				
	全体目標達成度	180.0%		195.0%	198.3%				
	年度別達成度	180.0%		195.0%	198.3%				
英語、中国語、韓国語教室の参加延人数	年度目標値	1,200		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
	実績値	1,198		1,080	1,060				
	全体目標達成度	99.8%		90.0%	88.3%				
	年度別達成度	99.8%		90.0%	88.3%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本市の姉妹都市・友好都市先であるアメリカ、中国、韓国の出身者をそれぞれ非常勤職員として採用し、通訳業務等の日常業務を行う中で、時間を割り振って語学教室（英語・中国語・韓国語）を実施している。当該事業は、市民の国際化を進める上からも、事業内容及びコスト面の関係から現状維持の方向で実施していきたい。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>今後、語学教室のあり方については、外国語の習得だけではなく、異文化への理解を深めていただくためにも、外国の文化・慣習などを紹介するなど、当該事業の充実をに向けた検討を行いたい。</p>